



令和5年4月23日執行

# 桐生市議会議員選挙 選挙公報

桐生市選挙管理委員会

## ブレずに まっすぐ

21世紀は水の時代です

永久に続く足尾鉛毒問題に取り組みます。良質な桐生川の水の活用を増やします。

充実した医療制度

厚生病院の医師確保に努め、「地域の医療は、地域の住民が守り育てる」という市民意識の高いまちを目指します。

教育の質の向上を目指す

新図書館の建設を推進します

子ども達は「まらの宝」です

出産から子育て支援制度の充実、及び教育環境の充実を目指します。

高齢者が安心して暮らせる街づくり

高齢者の住みやすいまちは、すべての世代に住みやすいまちです。

交通事故ゼロのまちへ

生活道路を整備し、徒歩や自転車を利用する「ゆとりのもてる」まちづくりを目指します。

経歴 1952年桐生生まれ 桐生高校を経て早稲田大学商学部卒業 本科技研工業、家業(河原井サイクル)に従事

1993年桐生市議会議員(4期) 桐生厚生総合病院議員(4期) 水質検査特別委員長(3期)

群馬県自転車協会副会長 桐生消防団第2分団副団長 早稲田大学校友会 群馬県支部代表員



河原井 始  
かわらい はじめ

自転車で遊説中

## 少子高齢化に対応した健全なまちづくりを桐生から

### 1 地域自治区と広域連携を推進します

地域自治区とは市の範囲を地域ごとに分け、地域住民で話し合った結果をまちづくりに活かしていく仕組み。全国17都市で既に実施されています。私は新里町・黒根町をモデル地区とした地域自治区の導入を提案しています。

また、みどり市との合併を強く推進するとともに、周辺都市との相互協力関係を構築することで、全てのサービスを一つの都市で担うという考え方から脱却し、将来にわたって継続可能な適正規模の行政の在り方を提案します。

### 2 投資効果を徹底検証

現職(2期目)  
新里町在住・38歳

費用対効果の検証、民間活力の積極導入、不要公共施設の積極的売却を推進。

ハリアフリー化、公共交通の充実、買い物難民対策などにより、社会障壁の解消を目指します。

対策などにより、社会障壁の解消を目指します。

次世代に誇りを持って引き継げる桐生市を共に創りましょう!



久保  
くぼた



久保  
くぼた

## ひとつ、ひとつを着実に!!

### 財政



佐藤みつよし

これらの問題に全力で取り組みます

### 医療

地防災機能の強化と災害に強い  
地域づくりのための強化と災害に強い  
地域との連携による課題  
子どももケニア育成支援と  
ヤングケアラーラーの支援と  
地域包認定支援と  
要介護認定支援と  
安心して命を預けられる病院の  
豊かな地域づくりの精神による  
自助・共助・公助の精神による  
安心して命を預けられる病院の  
確保と医療費の軽減化の実現  
連携の社会

地域づくりのための強化と災害に強い  
地域との連携による課題  
子どももケニア育成支援と  
ヤングケアラーラーの支援と  
地域包認定支援と  
要介護認定支援と  
安心して命を預けられる病院の  
豊かな地域づくりの精神による  
自助・共助・公助の精神による  
安心して命を預けられる病院の  
確保と医療費の軽減化の実現  
連携の社会

安心して暮らせる  
地域づくりのために

「議会」はチェック機関です！

「行政」と「現場」のギャップを潰す

## ■自治会運営と内部統制評価の経験を活かして取組みます！

- ★ スピード感ある行政改革の断行
- ★ 行政運営の見える化推進
- ★ 実情に合った施策の実施
- ★ 人口減による税収減対策強化
- ★ 内部統制評価の仕組み強化

## 「憲法の命」は「心と力の源」だから



エビネ あつし  
76歳

・「憲法の命」は  
1946年11月3日公布、翌年5月3日施行の日本国憲法の命は、その冒頭第一文の中にありました。「日本国民は、正當に選舉された、國会における代表者を通じて行動し、われらの子孫のために、『中略』政府の行為に反対する。」これが、その憲法の命でした。

この憲法の命は、これがそのまま私たちの命と力の源とも成つて、あの戦後の復興も成ったのです。また、その一方で、右の写しのとおり、これが、その憲法の命でした。

・だからこの日の前(2月23年4月9日)執行の選挙でも、多くの主権者たちの立候補者の行使が、過半数(6割近く!)の主権者たちの投票権の放棄(無に帰した)のです。「正当選挙」も、「人類普遍の原理」に基づく、「政治道徳の法則」に従つも、全く無かつたのです。

この静聴ありがとうございました。私は立候補させて頂きました。

## 桐生を元気に！

略歴  
昭和49年1月28日生まれ 桐生市在住  
桐生北保育園 卒園  
桐生市立北小学校 桐生市立北中学校 卒業  
明治大学園德高等学校 普通科 卒業  
専修大学北海道短期大学 土木科 卒業  
前橋市立前橋工科大学 建築学科 卒業  
現在 北川計 助勤

歴任  
桐生市議会 議長(第30代)  
総務常任委員会 委員長  
教育民生委員会 委員長  
桐生市職員が祥事再発防止調査特別委員会 委員長  
議事報告会、意見交換会実行委員会 委員長

桐生市消防団 第1分団 団員  
桐生祇園祭 寺北斗行司  
ボイスカウト 富士章 取得  
家族  
妻・長女(7歳)・次女(5歳)・両親との6人暮らし

- 安心して暮らせるまちづくりを目指します
- 子育て・教育環境の整備・充実に取り組みます
- 歴史的な建造物・文化遺産の保存・活用ができるようまちづくりに取り組みます
- 商工業を元気にして活力を取り戻します
- スポーツ環境の充実と芸術文化の振興に取り組みます

## 議長4年の経験と実績



周藤  
しゅうとう  
まさひこ

### 子育てするなら自然あふれる桐生で

### 桐生の未来を創るために

- ・不妊治療への支援と助成の強化
- ・「ファミリー・サポート・センター事業」の一歩無料化
- ・「くみん」などの認定事業主を増やす
- ・環境・親と人の思いに配慮した道路整備
- ・移住しやすい環境整備
- ・住民参加型イベントの充実
- ・スポーツ指導者への支援の充実
- ・児童養護施設への支援の充実

## 笑顔があふれる健康都市桐生

### 安心して暮らすために

- ・基幹病院を中心とした医療情報の連携
- ・医師に限らず、医療・介護の従事者不足による労働環境改善
- ・基幹病院との連携による診療所での治療実施・検診や各種ワクチン接種の体制強化

### 伝統を守るために・伝統工芸の後継者に問題に取り組みます

昭和45年生まれ、桐生市立北小学校、桐生市立北中学校、群馬県立桐生高等学校、城西大学薬学部卒業  
1994年から桐生市立総合病院薬剤師として28年間勤務  
日本病院薬剤師会認定指導薬剤師、日本麻酔科学会会員、日本麻酔科学会会員、日本病院薬剤師会認定薬剤師、日本アンチ・ドーピング機構認定 スポーツファーマシスト

健康を維持し、友人や仲間との良好な関係を築き、親密な交流をもち、笑顔で過ごせることが大切



小島  
こじま  
つよし  
無所属

52才

令和5年4月23日執行

# 桐生市議会議員選挙 選挙公報

桐生市選挙管理委員会

人から地域へ地域から桐生市へ…… すべては人から

ひとりひとりがしっかりとすることにより地域がしっかりとし、桐生市がしっかりとします。ひとりひとりが潤うことでより地域が潤います。ひとりひとりがきちんと人を育てることによりこれから桐生市を担う宝物が増えています。・・・すべては人が織りなしています。



ひとみたけふ

住みやすい桐生市、暮らしやすい桐生市にするために、皆様のお力をよろしください！

## 経歴

昭和43年(1968) 桐生市川内町に生まれる  
平成元年(1989) 桐生市工業高校定時制卒業  
平成16年(2004) 州立ハワイ大学卒業  
平成21年(2009) 合同会社アーサポート設立  
平成23年(2011) 群馬大学文化共生推進プログラム修了  
平成27年(2015) 桐生市議会議員 初当選  
教育民主委員会副委員長  
秘書委員会副委員長  
令和元年(2019) 桐生市議会議員 二期目当選  
経済建設委員会委員長  
議会改革調査特別委員会委員長



地域をまもり  
未来をつくる  
知恵を絞り汗をかき、全力で故郷を守り  
未来を創る、それが私の使命です  
卒業後はふるさと桐生に残り高齢化社会に立ち向かうため会社を設立、訪問介護に特化した介護事業を展開。  
平成27年桐生市議会議員として初当選、手話言語条例策定に貢献、  
がんでもしむ人のための医療費用イック金購入費助成事業の実現、  
議会改革度量衡議会議員強化部会全国1位の取得や労使規則の見直し、  
女性や配偶者のための産前産後休暇取得制度の導入、  
国際都市への桐生市派遺事業の拡大など多岐にわたり活動。  
地元桐生市が来るべき未来へ対応してゆくため、産業活性化、議会改革、  
高齢・障がい者支援、国際化対応、市民サービスの向上に走り続けています。

その水は、あなたの命を支えています。

思いを自身  
声で届けたい



@SHOICHIRO.ABE1968

ART / アートの力でまちを元気に！

- ・水道維持管理の改善
- ・災害時の水道防災対策の構築
- ・知の泉・図書館をステキに改善
- 学習環境の対策
- ・Uターン奨学金の創設
- ・高齢者の自立を支える
- 交流の場及び移動手段の整備



あ  
べ  
しょ  
う  
い  
ち  
ろう  
阿  
部  
勝  
一  
郎  
55歳

地域のみな様からの情報を基にして、機関誌「いっぽ通信」による市政や地域の情報を引き続きお届けします。

小中学校での多様な学びを研究し、桐生らしい学びの場所創りを具体化させてゆきます。

小中学校の給食費無料化を推進します



災害時における災害弱者の救済方について自主防災組織と連携し具体策を検討します。



高齢者が健康で元気な生活を送れる

町づくりを若い市民と共に進めてゆきます。



た  
じ  
ま  
忠  
一

この選挙公報は、候補者から提出された原稿そのまま写真複版により印刷したもの。

実現しました 市民相談 5400件超  
3期目4年間の主な実績／ひとりの声・小さな声を市政へとどけます！

公明党 市・県・国 ネットワークの力



・新桐生駅のエレベーター設置を含む「バリアフリー化」  
・渡邊瀬川を中心とした施設の伐採による水害予防策

→ 國土交通大臣に直接要望。  
実現への道筋を拓きました！

子どもを守り・育む

くらし・安全・安心

・高校生世代(18歳年度末)までの医療費無料化  
・ひとり親家庭への支援 審議費確保支援事業の創設  
・免進学がい児への支援強化  
・メンター事業(県内初!)のスタート

・AEDの屋外移設を推進(24時間使用可能に！)  
・各種証明書(住民票など)のコンビニ交付

・市営住宅への入居条件の緩和(連帯保証人の撤廃など)

・防災・減災対策

・土砂流出被害が発生する地域への対策「谷止」の設置

・コロナ禍での避難所不足対策(地域避難施設登録制度)

山之内はじめ「チャレンジビジョン」

&lt;略歴&gt;

桐生市立西小・西中学校

桐生高等学校

明治大学 畢業

民間企業勤務を経て

平成23年 初当選

(現3期) 50歳

消防士 桐生市消防団員

山之内はじめ  
やまと  
のうち

☆子育てでの経済的負担軽減、学びの質や充実度、「教育・子ども政策」を市政の柱に  
☆コロナ禍・物価高騰に際して「公明の力」のネットワークの力で、「現場の声」を反映  
☆高齢者など、通院や買い物が困難な方のニーズに応じた移動手段の確保  
☆引退ごもり、ラングアラー、生活困窮などの課題に対する課題に対する相談体制の強化  
☆ライフペースごとの手続き(お泊りやお出でなど)の一括化による窓口サービスの向上  
☆「球体網膜プロセクション」など、スポーツ・文化的な施策による市民の生活向上  
☆公民連携の強化、民間の団体(アーノン/コワウ)との連携による体験づくり  
☆地区的防災・減災力の強化、防災対策の強化 ☆若者の声を市政に反映させる仕組みづくり

地図の防災・減災力の強化、防災対策の強化 ☆若者の声を市政に反映させる仕組みづくり

地図の防災・減災力の強化、防災対策の

令和5年4月23日執行

# 桐生市議会議員選挙 選挙公報

桐生市選挙管理委員会



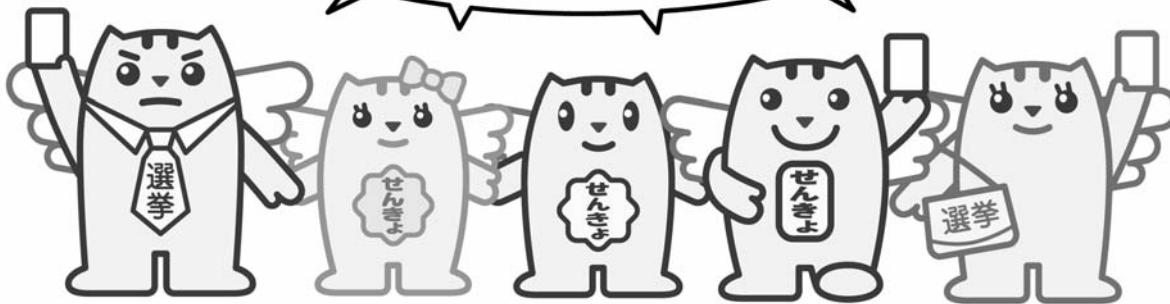
**明日がもっと いい日で ありますように！**

- 新井達夫の政治信条は、「過去から未来につなげよう、桐生の心を」とあります。
- 私は桐生市で生まれ、育ち、地域に密着した林業や製材業に従事し生活をしています。活動施策としては、「市民に負担のかからない街づくりを目指して」を旗印に掲げ、安心・安全な地域づくりに専念をいたします。
- ① わたくしは、市民の立場で頑張ります。
  - ② 桐生の農業・林業を守り、未来への取り組みを支援します。
  - ③ 景気・雇用対策に尽力します。
  - ④ 子育て日本一に…
  - ⑤ 川の流れ、山並みを生かした街づくりに取り組みます。
  - ⑥ 中心商店街の活性化に努力します。
  - ⑦ 基幹病院の改革に取り組みます。
  - ⑧ 公共交通の活性化に取り組みます。
- 以上の実現に向け努力をいたします。



**新井たつお**

みんなで行こう。明るい選挙。



## 投票日

# 4月23日(日)

**投票時間** 午前7時から午後7時まで  
(馬立集会所は午後6時まで)

**期日前投票**

期間：4月17日(月)～22日(土)

時間：午前8時30分～午後8時

場所：桐生市役所・新里支所・黒保根支所

住所にかかわらず、いずれの場所でも投票できます。

**桐生市選挙管理委員会**